

迎春

水源

第58号

西岡地区町内会連合会

2021 1



明けまして
おめでとーございます

西岡地区町内会連合会
会長

押木正康



令和三年の新春。皆様には、今年はとりわけ良い年に、との思いが強いことと推察申し上げます。

日頃より、当町連の事業に特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスが出現して以来、私どもの活動や行事も多大な影響を受けました。一つ一つの事業で感染リスク回避を模索

しながらも、中止や延期、内容や形態の変更を余儀なくされた一年であったと云えます。

九月に「西岡学びの丘町内会」が誕生し、町連に加入されました。新規加入は13年ぶり、39番目の会員です。心より、歓迎申し上げます。

さて今後ですが、福祉対策が引き続き最重要課題です。豊平区内で最も高い高齢化率

始めよう、地域防災の新しい取り組みを！

昨年は不安と混乱の中で、我慢や辛抱を強いられた一年でした。新しい病原体の出現は想定外。さらに、私たちはあまりにも無防備でした。

今や、直面する多くの困難に対応しながらも、持続的な感染症対策に目を向ける必要があります。「地域としての防疫」です。

病気に強いまちづくり。それには、住民の体や心の安全、ゴミステーションや公園などの環境、行事や集まりの仕組み、コミュニケーションの方法…地域活動の広範な領域が関わります。

いろいろと創意工夫し、地道な試みを積み重ねて行きます。これが、日々の新しい習慣を作ります。

この一年を、そんな西岡モデルを築き上げる年としましょう。

32%は看過できません。さらに防災事業では、「住民の自助共助による災害に強いまちづくり」を目指します。感染症対策も、新たな対象となります。

コロナ禍は終息の気配もなく、先行きが見えません。今こそ、地域で考え、地域の力を結集して、この難局を乗り越える時と考えております。

会員の皆様が、心穏やかに過ごす日常を取り戻す一年となります。様に心よりご祈念申し上げます。

コロナ対策は基本を忠実に！

西岡まちづくりセンター

所長 保木 千史

長きにわたる感染対策に、みなさんお疲れでしょう。先日、宿泊療養施設の運営の仕事に従事した経験から、改めて感染防止の重要性をお知らせします。新年早々、5泊6日で泊まり込み、入退所や食事（お弁当）手配、食事の取れない方のゼリーやおかゆの準備、

医師や看護師の指示による薬の用意など、仕事は多岐にわたり、肉体的に過酷でした。無症状、軽症の方の多くは一週間ほどで退所します。しかし、多い日には3、4人の方の容体が悪化して病院へ救急搬送されます。お年寄りや基礎疾患のある方だけでなく、若くてお元気そうな方でも急変することがあります。苦しそうな姿を目の当たりにするのはとても辛いことでした。

年末の札幌は、日々の感染者数が減少傾向にあり、療養の状況も改善しているものと思っていました。現実にはそんなに簡単ではありませんでした。まだまだ本場の正体が分からないウィルスの怖さが身に沁みました。施設の感染防止方法は、療養者と直接接しない限り、普段の生活時と変わりません。マスク、手洗い、手指消毒が基本です。特別な対策はありません。今一度基本に立ち返り、感染防止に心がけましょう。

「西岡まちの灯り」開催

「コロナに負けるな!!」を合言葉に、「西岡まちの灯り」が1月31日によりやく開催できる予定です。

**令和2年度
優良PTA
文部科学大臣表彰**

南月寒小学校
父母と先生の会

長年にわたるバザーやもちつき大会、そして公園の清掃、美化活動などのPTA活動が評価され、受賞されました。

**令和2年度
札幌市優良青少年及び
青少年育成者表彰**

西岡さくら子ども会

谷口慎瑚さん

谷口さんは、子ども会のリーダーとして受賞されました。

市内では17名の方が表彰されました。

今後のさらなるご活躍をお祈りします。

昨年の会場の西岡ふれあい広場が交番建設工事のために使用できず、札幌大学の正門と構内にアイスキャンドルを設置し、幻想的な光の世界が広がります。主催は西岡商工振興会、西岡福住地区センター、当町連、そして

札幌大学で構成された「西岡まちの灯り」実行委員会です。

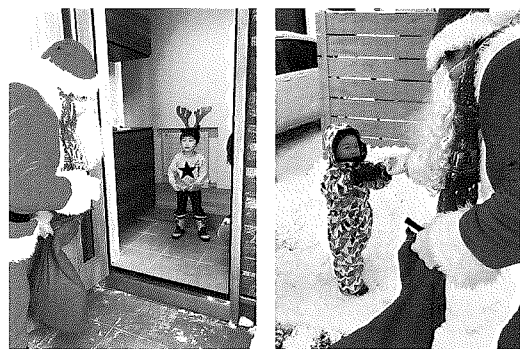
このイベントは西岡ふれあい広場、西岡神社境内と毎年会場を変えて行われてきました。今回は、大学生や先生方の協力もあり、今後は会場が定着してくれるのではと期待しています。悪天候などにならないければ無事開催できると期待しています。



2021

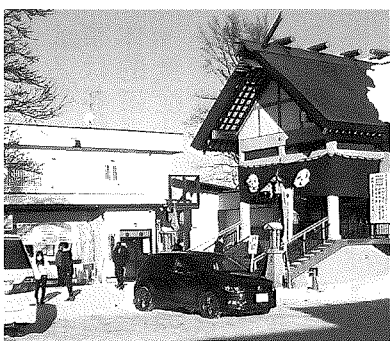
地域の行事がことごとく中止に追い込まれた今年。雪と光の織りなす北国ならではの風景が、コロナに負けない西岡に元気を与えてくれるような気がします。

子ども達に クリスマス プレゼント!!



今年、様々な行事が実施できない状況の中、各町内会で工夫をこらし子ども達にクリスマスプレゼントを渡しました。

学びの丘町内会では、サンタ姿でヒゲの下はマスク、手にはしっかりと手袋を着用して配布しました。サンタさんから受け取った子ども達は、鈴の音に驚いて泣いてしまったり、嬉しさに跳ね回ったりと反応は様々でした。見晴・シーアイタウン



町内会もそれぞれプレゼントを配布。北斗町内会は「クリスマス・マスク」と称し子ども用マスクを配布しました。ささやかですが、クリスマスの気分を味わえたことでしょう。

西岡八幡宮の初詣
今年の干支（えと）は辛丑（かのとうし）。古来「よいことの前触れの年」と云われています。

境内には出店もなく、おみくじ結びもできず、吉凶を確かめ、持ち帰るだけの大変静かな初詣の様子でした。力強く二拍手、コロナ禍の早期収束を祈念しました。



西岡地区
青少年育成委員会

子どもの安全を守る 『夜間公園パトロール』

今年度は、活動中止を余儀なくされましたが、これまでの活動についてお知らせします。私たちの活動の一つに夜間公園パトロールがあります。非行防止の観点から、夏に2回、西岡地区の20カ所以上の公園を巡回します。そのうち1回は西岡中学校と合同で行っています。

部へと輪が広がり、最終的にはPTA活動の一つに加えていただき、今日に至っています。

最近では、帰宅時間を守らない子どもを見かけることはほとんど無く、西岡の夜の公園はとても静かです。この活動が不審者から子どもを守る抑止力になればいいなあと思います。

学校と保護者と地域が協力し合うことは大切な事ですが、昨年はコロナの影響で、様々な活動が中止となり、人と人とのふれあいの機会も減ってしまいました。

この大変な日々を乗り越えて、今年の夏、パトロールの時に、子ども達について語り合える楽しい時間を過ごしたいものです。

西岡地区社会福祉協議会
(福祉のまち推進センター)

福まちびろば

《福まちの活動について》

福まち（西岡地区福祉のまち推進センター）は、西岡地区39町内会・自治会の福祉推進員（144名）が中心となり、地域福祉の活動を担っています。

◇活動の柱の1つは

一人暮らし高齢者（70歳以上で福まちに登録の方）の見守り・サポート活動です。

毎年、秋の『ふれ愛交流会』や各地域の茶話会開催などで、お茶を飲みながら楽しくひとときを過ごしてもらっています。

今年の『ふれ愛交流会』は、コロナ感染予防のため、残念ながら中止しました。それに替わり、『一人暮らし安心訪問事業』として、西岡地区の対象高齢者600名全員に、災害時の生活用品を福祉推進員が直接自宅にお届けし、大変喜んでいただきました。つながりの大切さをつくづく実感しました。

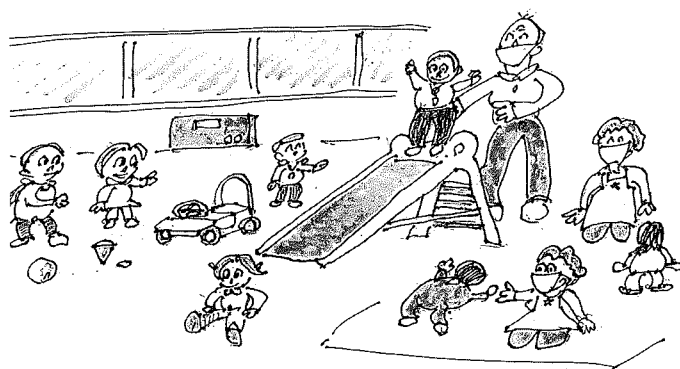
◇活動のもう一方の柱は

子育て支援活動として「西岡げんきランド」を開催、運営しています。

就園前の乳幼児（保護者同伴）に年間15回程、遊びの場を提供しています。

今年度は、コロナの影響から、場所をにしおか会館に変更（従来は西岡小学校で開催）し、1回のみで開催（10月）に止まりました。

これらの活動がコロナの感染予防のため、大きな制約を受けました。早期の収束を願いつつ、何とか工夫し、今、できることを続けて参ります。



新成人を祝い、 花火打ち上げ



コロナ禍で札幌市では今年の成人式が中止に追い込まれました。

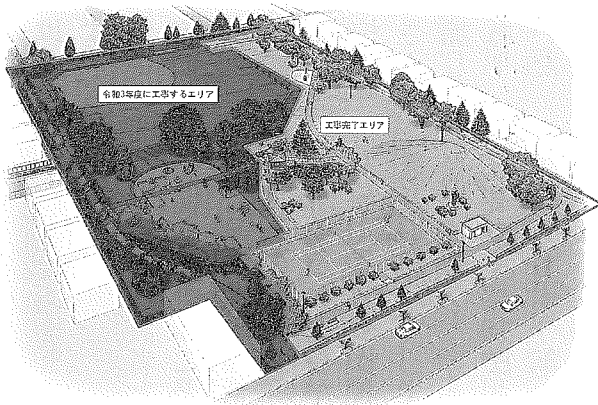
しかし新成人のために何か記念になることをしたいと西岡商工振興会の企画で、1月11日午後7時から札大グラウンドで花火を打ち上げました。新成人の若者たち、気が付いてくれたかな？

夜空を彩る美しい花火を見ながら、この困難な時代を生き抜く若者たちに、このきさやかなエールを贈りました。

冬季は雪山で道幅も狭く滑りやすくなります。車はスピードを控えめに、慎重な運転を。歩行者はツルツル路面での転倒に注意。特に、夕暮れ時や降雪時には視界が悪く、道路横断では左右確認を怠らず、充分注意してください。

町連通信

町連の日常活動やこれからの行事などをお知らせします。



「西岡ぬまた公園」が リニューアル！

昨年から改修工事を進めてきた、「ぬまた公園」(3条10丁目)の第1期工事が完了しました。今年は第2期工事が始まり、大きく生まれ変わります。最近ではめっきり使われなくなったゲートボール場は緑の芝生になり、老朽化したトイレもすっかりきれいになりました。今年の第2期工事では遊具施設が新しくなり、野球場も整備される予定です。さらに快適な地域の憩いの場所になるでしょう。

冬の交通安全

昨年4月から11月まで8回予定されていた交通安全街頭啓発活動は、コロナ禍と雨天の影響で全て中止となりました。

排雪の実施？

「冬の悩みどころ」

パートナーシップ排雪制度の実施有無は、積雪量、住民意向等によって考えなければなりません。最近では個人排雪の利用が増え、制度の必要性が低くなる傾向にもあります。

昨シーズンは降雪が少なく、実施か、取り止めかで判断が分かれました。地域の負担は高額で、実施の有無が町内会収支を左右することも、決定に影響します。

今冬も、難しい判断を迫られそうです。

令和2年度募金の結果

募金活動の結果は、次の通りです。ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金	657,200円
日赤募金	766,340円
一円玉募金	425,861円

編集後記

札幌市全図を眺めている。大通西4丁目を中心とすると、「西岡」は南南東に位置する。ほぼ、真南に近い。

方角だけなら「南岡」だが、どこから見ての「西岡」なのか？興味深い。

明治の開拓は月寒村の一地区として始まり、当時は「焼山」と呼ばれていた。

その後、「西山」に改称され、丘陵地帯で、月寒地区の西に位置していることから、「西岡」となったとされている。

自分たちの住んでいるところのなりたちをふり返ってみるのもおもしろい。

(泰)

広報誌 水源 第58号

発行 西岡地区町内会連合会

豊平区西岡4条5丁目8-11

電話 854-10357

編集 広報部

印刷 北晃社斎加印刷所